

LPガスCP情報(2016年10月積み)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **340** 円/ト (前月比+45円/ト)

ブタン **370** 円/ト (前月比+50円/ト)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、不需要期でプロパンを中心に需給は緩和していたが、米国玉のキャンセルでアープ玉が減少、気温の低下を見込んだトレーダーがショートカバー。ブタン付カーゴに中国・台湾からの引き合いが強まりブタン高が顕著となり、また、プロピレン高から中国のPDHプラントの稼働率が上がり、寧波の新PDHプラントも稼働見込みでプロパン需要も喚起されており、一時20隻を超えたシンガポール沖のフローティング在庫と化したカーゴも5隻程度に減少した。CP先物は4週続伸、極東CFR市況も第4週にプロパン360円/ト、ブタン380円/トに続騰した。ナフサは原油市況に連れ軟化後反騰、月間平均では395円/ト、前月比15円/トの上昇。バンカーオイルは、月間平均では256円/ト、前月比15円/トの上昇。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、不需要期で全米プロパン在庫が増加したが、原油市況の反騰で275円/トどころに続騰した。

10月CPは前年同月比プロパン20円/ト下落、ブタン5円/ト上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン16ポイント、ブタン18ポイント高、前年同月比ではプロパン2ポイント、ブタン9ポイント高。

| | 第1週 | 第2週 | 第3週 | 第4週 | 平均 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| フレート | 19 | 18 | 19 | 20 | 19 |
| CP先物指標：P | 295 | 310 | 320 | 340 | 316 |
| CP先物指標：B | 320 | 360 | 355 | 370 | 351 |

② 原油市況等

WTIは9月43.16円/トでスタート、熱帯暴風雨「ヘルマイン」の影響で米原油在庫が予想に反して急減し8日には47.62円/トに急騰したが、石油掘削リグ稼働数が増加、IEAは供給過剰が2017年も続くと発表、アルジェでのOPEC非公式会合への期待も後退し、第3週末には43.03円/トまで下げた。下旬にはFRBが追加利上げを見送りドル安、株高となり、米原油在庫が2月の水準まで減少したことを好感して続伸したが、OPEC関係者の発言で45円/トを挟んで急騰急落を繰り返した。28日にはOPEC減産合意(3,250~3,300万b1/d、11月会合で加盟各国生産目標設定)で急反騰した。ファンダメンタルズは依然と弱く、サウジがシェア重視から供給管理へ回帰するのか、イランとの和解がなるか注目される所。

一方、NYMEXのWTI総取組高は28日時点で183万枚、前月末比3万枚増加。大口投機玉の買越残高は20日時点で27.9万枚と前月末比62千枚の大幅減少、買建玉5千枚減に対し売建玉が57千枚増加した。

○9月積みアラビアン・ライト(9月1~28日)は42.50円/ト(前月比-1.57円/ト)

熱量等価AL100% プロパン348.46円/ト ブタン343.68円/ト

AL比 プロパン97.57% ブタン107.66%

***上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。**

2. 2016年10月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

| 適用期間 | TTS | P:円建CP | B:円建CP | P前月比 | B前月比 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 21~20日① | 103.00 | 32,700 | 35,500 | +2,600 | +3,800 |
| 26~25日② | 103.27 | 32,800 | 35,600 | +3,000 | +4,200 |
| 1~31日③ | 103.03 | 32,700 | 35,500 | +3,000 | +4,300 |

*TTS平均は①が8月21日~9月20日まで、②は8月26日~9月25日、③は9月1~29日まで、①、②、③ともに10月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。